

With

ウィズ



～私たちが私たちらしく暮らせる地域づくりを
みんなですすめようという意味を込めています～

金森（浜脇・西宮浜）・大塚（安井）・矢野（今津南）
廣末（上甲子園）・垣内（深津）・牧野（瓦木）・吉岡（甲山）・西邑（甲東）・南（甲武）
谷（小松）・角（高須）・春（浜甲子園）・水名口（塩瀬）・構（山口）
※（ ）内は、地域包括支援センター圏域を表記

西宮市社会福祉協議会 地域福祉第2課

☎(0798)23-1140 FAX(0798)23-3910 ✉chiiki@n-shakyo.jp



地域のつどい場 特集

住民同士がより身近に、気軽に集まれる地域の居場所として
市内に広がっているつどい場。今回はその活動をご紹介します。

浜脇 / M² クラブ エムツー クラブ

～男性参加の場に～

“男性も参加しやすい地域のつどい場を” との思いから、女性だけでなく男性も中心メンバーとなり、“M²クラブ” を立ち上げました。麻雀を取り入れたつどい場として、最初は4台だった麻雀卓も今では7台に増え、和気あいあいと交流しています。淹れたてのコーヒーを飲みながら「最近体調はどう?」「今日は〇〇さん来てないけどどうしたのかな?」とお互いに気かけあい、人と人とのつながりが生まれています。

日時：第2・4火曜日 13:00～16:00
場所：日商岩井香櫨園マンション集会室
参加費：200円（茶菓代）



段上 / 和カフェ なごみ

～共感から生まれる出会い～

地域の皆さんがホッと一息つき、認知症や介護に関する悩みを気軽に話せる場所です。地域の方からの介護相談をきっかけに、「居場所を作りたい」との思いでこの活動が始まりました。1つのテーブルを囲み、参加者同士で経験や悩みを共有し、新たな出会いが生まれることも。ここには、介護経験をお持ちのスタッフの皆さんが温かく迎えてくれ、地域全体で見守りの輪が広がっています♪

日時：第2日曜日 14:00～16:00（1月8月休み）
場所：①清田診療所デイサービス（段上町2丁目1-28）
②コープのつどい場 CO-KO（上大市4丁目4-11）
参加費：100円～（茶菓代） ※②6月12月のみ開催



小松 / カフェ 憩の家 静 いこ いえ しずか

～できることを積み重ねて～

“家で一人で過ごす方が気軽に集まることができる居場所を作りたい” との思いから、令和7年の1月に活動が始まりました。代表の“来られる方ができることをやってみよう” という考えから、障害のある方も、ボランティアとして活動しています。最初は「何もできないけどいいの?」と不安げな様子でしたが、今では積極的に受付でお金を数えたり、飲み物を運んだりしています。参加者もボランティアも一緒になって楽しく過ごすことのできる、みんなの居場所になっています。

日時：第2・4金曜日 13:00～15:00
場所：小松東町2丁目12-18
参加費：100円（茶菓代）



市内11か所目となる共生型地域交流拠点が誕生しました！

あなたのまちの 共生型地域交流拠点 (地域の常設型拠点)



高須 つどい場まんなか

拠点とは？→



場所：西宮市高須町2-1 武庫川団地19号棟2階
日時：月曜日～金曜日 12:00～18:00
電話番号：0798-42-8611
運営：任意団体にじいろテラス

連絡会を通して
地域の方の声を聞き、
多世代の居場所として
人と人とのつながりが
生まれています

令和7年6月、高須地区に「つどい場まんなか」がオープンしました。
地域食堂や子どもの居場所づくりに取り組んできた方々が中心となり、「誰かと話せて、子どもも大人もほっとできる、もう一つの家のような場所」を目指し、平日のお昼から開所しています。

開設前には連絡会を開き、地区社協や自治協議会、福祉関係者とともに「つどい場まんなか」の未来を話し合いました。「この広い部屋なら多世代で使えるね」「誰かの居場所になればいいね」と、あたたかな声が寄せられました。

開設後には、「子どもの声を聞きながら落ち着いて読書ができる」といった感想や、小学生と中学生と一緒に遊ぶ姿も。世代を超えてつながる、にぎやかであたたかな場所になっています。



地区社協活動紹介 春風

春風地区ボランティアセンターで行われている
『ちょこっと見守り』をご紹介します。

開所日時：毎週水曜日 9:00～12:00
場所：春風公民館1階 第1集会室

買い物や通院、美容院など保護者の方が少しでも「自分の時間」を持てるようお子さんを一時的にお預かりする「ちょこっと見守り」という取り組みを行っています。

預けに来られた時は表情が暗く元気がないように見えたお母さんが、お迎えの時には別人ではないかと驚くほど、明るい表情で、優しい笑顔になっていました。活動者はその笑顔が見れることをやりがいにされています。

実際に利用した方からは、子どもを見守ってもらえたことだけではなく、「近所のお店や公園の情報をボランティアさんから聞いたことが心強かった。」という声も届いています。この取り組みから、地域で子育てを支え合うあたたかい輪が広がっています。



赤十字会員増強運動ご協力のお礼

～活動資金のご協力ありがとうございました～

ご協力いただきました活動資金をもとに、多くの苦しむ人々の笑顔が取り戻せるよう、国の内外で人道的な活動を展開していきます。今後もあたたかいご支援を心からお願い申し上げます。

日本赤十字社兵庫県支部 西宮市地区
(西宮市社会福祉協議会内) ☎ 0798-23-1140



編集後記

今回、記事を集めていく中で、きっかけはそれぞれ違いますが、地域の方の“居場所を作りたい”“地域のために何かやりたい”という思いが西宮の福祉活動を支えていることを改めて感じました。これからもそんな活動者の思いを届けられるような「With」を作っていきたいと思います！次号では「子ども食堂」について特集を組む予定です。(M)

ご意見・ご感想は
こちらまでお待ちしています！→

